



浜家連ニュース 4月号

第176号

平成27(2015)年4月1日発行

○発行人 特定非営利活動法人 横浜市精神障害者家族連合会
事務局 〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地
障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール3階
電話 045(548)4816 FAX045(548)4836

巻頭言 家族も含めた訪問支援とは 副理事長 北川 はるみ ～イギリス・メリデン版訪問家族支援に学ぶ～

3月6日に『みんなねっとフォーラム2014』が、東京の津田ホールで開催されました。午後からのシンポジウムは、『英国メリデン版訪問家族支援を日本で実現するために』という内容で、丸山美恵氏(世田谷さくら会の家族)、上久保真理子氏(浜松市「びあくクリニック」の精神保健福祉士)、宗未来氏(国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター、精神科医師)の方々がシンポジストとして登壇されました。

宗医師は4年間、英国留学をされていた時に症状が重い方ほど患者さんと家族のかかわり方がいかに鍵になるかをつきつけられ、その中でこの「メリデンプログラム」に関心を持ちファミリーワークの基礎トレーニングコースと指導者育成コースに参加されたそうです。

ファミリーワークは「メリデンファミリープログラム」によってトレーニングされている家族支援技術です。①個別に、主に訪問によって長時間にわたり本人と家族を支援し続ける。②本人と家族がいずれ自分たちの力で困難を乗り越えていけるように効果的な問題解決や目標達成ができる技術習得の機会を提供する。③精神障害者本人を含めた家族がそれぞれの生活を自分らしく生きること。をめざしているそうです。専門的には、行動療法的家族療法といわれるものが原型で、①病気や治療・社会資源などの情報について、本人と家族と共に学ぶ。②ポジティブなコミュニケーションのあり方を練習し実践する。③家族の中で話し合いがうまくできるよう練習する。④再発のサインを本人と家族で共有しサインが出たときにどう回避するかを相談しておくなどを、

訪問したスタッフが本人と家族を交えて話し合いながら行うものです。

このファミリーワークを受ける事により再発予防効果があることが明白なので、イギリスの精神保健医療福祉の標準的な支援の一つとなっているそうです。

又、退院後の自立に向け、急性期閉鎖病棟でさえ、早々に治療と並行して、料理や洗濯のトレーニングも開始されますが、单身生活のための居住環境やサポート体制が充実しているそうです。

しかし、日本の現状を見ると、退院した本人は家族のもとに返されますが、家族自体どうしてよいかわからず、ともすると、うつ状態になってしまい閉鎖的になる家族が何と多いことか。そして共存になり、ますます家族関係が悪くなり、ひいては、本人の病状悪化につながってしまう。「家族による家族学習会」各、家族会によるSSTなどの勉強などもあります。専門家の介入も必要です。生活支援センター、区のワーカーさんなども訪問していますが、まだまだ足りない現状です。

先月の巻頭言でも、大羽副理事長がふれられましたが、精神疾患に特化した、訪問看護ステーション「てとて」がスタートしました。経験を積んできた志の高い、看護師、精神保健福祉士のチームです。訪問対象は、保土ヶ谷区、戸塚区、中区、南区、西区、神奈川区とまだ限られてはいますが、困難を抱えた家族関係にさす一筋の光となるように期待しています。後に続くであろう事業所の為にも、応援していきます。



三浦海岸駅河津桜

浜家連の動き

① 横浜市健康福祉局との意見交換会 2015年3月16日 副理事長 大羽 更明

於：松村ビル別館 5F 501 会議室 9:30~11:30

出席者 横浜市健康福祉局：障害福祉課上條課長、松浦係長、山脇氏、障害企画課桑折課長、山村係長、
障害支援課卯都木係長、こころの健康相談センター小栗係長

浜家連：宮川理事長、柏木、大羽、北川(3副理事長)、北谷、植木、倉沢、浅田、中居(事務局)

松浦係長：浜家連からの要望で個別の課題に関する意見交換が必要と判断し、特に①アウトリーチ事業、②災害時の要援護者リスト、の2点について話し合いたい。本日の会合の趣旨は、この会議で何かを決めるというのではなく、双方の率直な意見を交わすことという挨拶で始まりました。

1. アウトリーチ事業

●浜家連：家において外に出られないため福祉や医療につながれない精神障害者が多い。アウトリーチ事業の拡充が必要、また各種の訪問型事業を統合する仕組みがなく断片的である。27年度には問題解決のための予算が計上されていない。今後どのようにしてアウトリーチ事業の拡充をしていくつもりか。

●市：事業の必要性は理解しているが、予算・人員を大幅に拡大することは困難であることを理解してほしい。

●市：既存の施策の中で訪問支援は行われており、その諸機関・諸サービス事業（区福祉保健センター、生活支援センター、地活、後見的支援など）は個別事例の検討などを通して情報を交換して有機的に方向性を探る連絡協議会などを行っている。

●浜家連：支援が必要なのに相談窓口や支援サービスにつながらない者への対応としての訪問型支援が不十分である。その認識がありながら、予算・人員の不足を理由とした無策は問題だ。

●浜家連：独自の調査で家族会参加者のうち半数近くが福祉サービスにつがっていないことが判明した。

訪問型支援の必要性に関する実態を明らかにする調査も必要では。

●市：どのようにして実態を把握するのか方法がわからずに困っている。

●浜家連：後見的支援事業で訪問が行われると当事者が外につながりはじめるケースもあるので、まずは訪問して当事者に会うことから始めれば、生活支援や医療につなげてゆく可能性がある。

●浜家連：行政が実現できないことを「てとて」のような民間の事業の立ち上げで補ってゆくこともで

きる。その資金的なバックアップや事業拡充なども施策として検討して欲しい。

2. 災害時要援護者リスト

●市：1月7日に浜家連から災害時要援護者リストの対象に精神障害者が入っていないのは問題だとの指摘があった。この問題は、過去に浜家連と繰り返し協議し、浜家連からの「精神障害者は避難所に行けないわけではないが、避難所生活をするとときに差別などがあって苦勞するだろう。その配慮が必要であり、また名簿を町内会などに公開するときにプライバシーが守られないおそれがあるので、要援護者名簿には精神障害者を載せないでほしい」という要望に沿って決定したことである。

現状では、精神障害者は要援護者名簿の対象になっていないだけで、要援護の対象にはなっている。情報共有方式では、希望しなくても自動的に名簿に要援護者の名前が公開される。

浜家連は、以上のことを理解した上で、これまでの考えを訂正して、精神障害者を要援護者名簿の対象にしたいということか。

●浜家連：リストに載っていても、個別に公開を拒否すれば公開されないことを確認したい。

●市：そのとおりである。

●浜家連：要援護者リストの対象は、手帳の所持者か、福祉サービス利用者証の所持者か。

●市からは明確な回答がなかった。

●浜家連側内部で、再度内部の見解をまとめ直すことを表明。

同日 精神障害者への JR 鉄道運賃割引に関する意見交換会について

11:30~12:00 松村ビル別館 5F501 会議室

JR 東日本横浜支社 営業部伊藤氏、総務部榎本氏
横浜市健康福祉局障害福祉課 上條課長、障害福祉課移動支援係飯野係長課長。

浜家連は上記と同じ出席者

●市：浜家連の27年度予算要望を受けて、公共交通機関の運賃割引を精神障害者にも適用してほしい旨、国交省に対して要望した。JR 東日本に対して直接交渉の機会を要望した結果、本日の意見交換

会が実現した。民鉄協会は浜家連との交渉には応じられないとの回答であった。

●JR：この案件は国（国交省）の管轄事項でその指導があれば検討するが、JR 東日本単独で決めることではないと考えている。身体障害者の割引は身体障害者福祉法に則って実施し、知的障害者についても国の指導で実施したことで、精神障害者に適用し

ていないのは差別しているわけではない。

●浜家連：障害者権利条約や障害者差別解消法に則って差別をなくしてほしい。精神障害者は障害ゆえに働けず所得が少ないことを理解してほしい。精神障害者が旅行もして希望のある生活が実現できるよう、運賃割引で鉄道を利用しやすくしてほしい。等々短時間でしたが話合いが出来ました。

② 差別事例アンケートについて

（プロジェクトチーム 大羽、浅田、増喜、中居）

家族会の皆さんからご提出いただいた、一差別事例一アンケートの結果がまとまりました。結果は「全体まとめ表」「分野別分析表」「アンケート内容」の3部にまとめられています。「全体まとめ表」は分野別・分類項目別の集計、「分野別分析表」は代表的な事例とコメント・対策、「アンケート内容」は事例の全てです。3月13日の理事会の時に紙ベースで配布しています。ご希望の方は事務局へお申し出ください。参考に「全体まとめ表」の1ページ目を掲載します。

分野	分野明細 (場面や場所など、関わった人など)	件数	共通分類区分(1)		共通分類区分(2)							
			A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
			不利益な取扱い	合理的配慮の欠如	権利侵害による差別	非科学的差別	言い回しによる差別	善意による差別	無意識による差別	偏見による差別	制度の不備	不誠実な態度による差別
①医療	病院・クリニック・薬局など	88	62	26	56	4	8	2	15	22	49	34
②福祉	制度・福祉・保健施設、行政機関	27	4	26	7		10		1	2	8	10
③労働	就労先、就労準備中など	42	20	41	2	2	7	1	1	4	11	13
④生活	住まいと日常生活(住宅・移動・買い物、娯楽、家庭など)	74	64	31	24		14		1	49	16	24
⑤所得	所得保障(年金生活保護、不動産取得など)	22	16	13	5		3			1	16	1
⑥権利	警察、裁判、免許、防災など)	11	4	6	5	1	3			2	1	3
⑦教育	学校など	19	6	18	7		5		1	10	9	7
⑧情報	用語、広告、マスコミ、インターネットなど	18	12	4	2	1	6	1	9	14	2	
⑨他	その他	16	4	8	2	2	3	1	3	8	6	4
合計		317	192	173	110	10	59	5	31	112	118	96

* 紙面の関係で集計表を全面掲載出来ません。K、Y、Zについては合計数字のみ計上します。

K:一虐待 16、Y :一非差別事例 21、Z :一意味不明の事例 4

③ 浜家連 1泊研修旅行について

3月2日(月)～3日(火)平成26年度 浜家連一

事務局次長 中居武司

1泊研修会が開催されました。場所は「マホロバマイ

ンズ三浦」会場となった会議室からは、三浦海岸の景色が窓いっぱい広がっていました。

定刻の13時半、宮川理事長の挨拶とともに研修会が始まりました。最初は精神障害者バレーボール全国大会で3連覇を成し遂げた、さいとうクリニックのバレーボール監督の後藤和馬氏からお話を伺いました。

バレーボールはデイケアの一つとして行っており、デイケアに申し込んでいないと参加できないとのこと。全国大会では長距離を移動すること、長期宿泊により状態が悪くなっているか選手を注意深く見守っているとの事でした。それでも、状態が悪化し試合に出られるか危ぶまれたこともあったそうです。その他、選手に運営等のすべてを任せながうまくいかなかった、試合に出られるかどうかでもめごとが起こりやすい・・・等々いろいろとお話をして下さいました。また、昨年の出場選手12名中10名が就業しているとのことで、就業率の高さに驚きました。また仕事に就くと練習に来られなくなるので、とも話されていました。最後に練習風景のビデオを見ながら、全国大会の様子を説明してくれました。休憩後、分科会がはじまりました。テーマは第1分科会「隠さない生き方」第2分科会「見守るとは」第3分科会「あきらめさせない事」。体験や日頃の思いを交えながら、活発な話し合いが交わされました。翌日の発表会が楽しみです。

午後6時宴会が始まりました。米倉顧問が傘寿を迎えられたとのことでそのお祝いを兼ねた宴会です。しばし飲食・歓談の後、各人のスピーチが始まりました。傘寿のお祝いとともに、

さまざまな話が出ました。時折笑いも出て、なごやかな雰囲気です。

サプライズ！で七福神のお面を被った3人が会場に入ってきて、場は盛り上がりしました。挨拶をしたあと、何か芸をしてくれるのかと思ったらイベントの宣伝をして帰ってしまいました。「ガクッ！」その後もスピーチは続き、最後に米倉顧問からスピーチをいただきました。その後、「あと出しジャンケンゲーム」を行い、もうひと盛り上がりした後、最後に大羽副理事長の締めで宴会が終わりました。



七福神三人

2日目は分科会の発表です。前日の疲れか飲み過ぎか、少し遅れた人がいたため予定時刻を過ぎて会議が始まりました。各分科会から前日の話し合いの結果が発表されました。発表の中からキーワードが出てきました。第1分科会は「町内会や民生委員などにもっと働きかけるべき」第2分科会は「親は見守ることしかできない」第3分科会は「親があきらめなければ子供もあきらめない」。これらについて全体で討議を行いました。

最後に「祝婚歌」を全員で唱和して、柏木副理事長の閉会の挨拶で一泊研修会を終了しました。記念の集合写真を撮り、お開きとなりました。「お疲れさまでしたあ〜」



集合写真で一す

今回は、語り合いがメインの一泊研修会となりました。そんな中から一つでも「心に残る言葉」があれば幸いです。

④ 事務局からのお知らせ 新ホームページについて

3月1日からホームページが新しくなっています。内容的には今までのものを全て引っ越していますので、ご覧いただけますが、トップページのデザインとメニューが若干変わっています。新 [URL:http://hamakaren.jp/](http://hamakaren.jp/) 特に浜家連ニュースの検索が変わって、「浜家連ニュース」のところをクリックしても、一回の検索ではページが出てきません。画面の誘導通り進んで「ダウンロードはこちら」をクリックします。画面下に『ファイを開く』が『保存』を選択しないと該当の画面になりませんので、ひと手間かかりますが、ご承知の上検索してください。

尚、検索が出来ましたら、「お気に入り」に追加してください。次回からそこをクリックします。

⑤ 編集後記

春ですね、1泊研修会の時、「河津桜」がきれいに咲いていました。鳥山川べりも早咲きの桜は咲いています。各地の桜も間もなく満開を迎えます。しかし三寒四温です。ご自愛ください。(事務局 斉藤)